


## 5.2 協同組合岩手オートリサイクルセンター

### 5.2.1 事業者情報

名 称	協同組合岩手オートリサイクルセンター			
本社住所	〒026-0055	岩手県釜石市大字平田第3地割81番地		
資本金、出資金	86,000 千円			
従業員数	20 人			
設立年月日	平成 15 年 5 月 8 日			
URL				
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガソリン、廃油、冷却液抜き</li> <li>2. フロン、エアバッグの適正処理</li> <li>3. 有用中古部品抜き(含むエンジン)</li> <li>4. 車両ガラプレス屑は電炉向け</li> </ol>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	佐々木 久		
	連絡先	電話番号	0193-36-1036	
		FAX	0193-26-5856	
Eメールアドレス		hisashi.sasaki@chive.ocn.ne.jp		

### 5.2.2 技術情報

キーワード	自動車解体業			
技術名称	自動車解体業、破砕業			
技術の分類	収集・運搬・破砕(解体機ニプラによる有用部品抜取後の破砕)・圧縮〔車両ガラ屑の油圧プレス化〕			
目的・用途	自動車リサイクル法に準じた適正処理 及び 完全リサイクル事業			
特長	◇有用中古部品の精緻な抜取(含エンジン) ◇フロンガス、エアバックの適正処理			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類		廃自動車	受入条件、形状	車両登録番号無し of 車
		廃油	受入条件、形状	廃油、廃液室で抜取

供給資源・製品	1. ガソリン、廃油、冷却液抜き 2. フロン、エアバッグの適正処理 3. 有用中古部品抜き(含むエンジン) 4. 車両ガラプレス層は電炉向け		形状	サイコロプレス層
			形状	抜き形状で倉庫入り
	有用部品 各種		形状	抜き形状で倉庫入り
	その他 モーター類		形状	抜き形状でフレコンバッグ入り
	その他 ハーネス		形状	抜き形状でフレコンバッグ入り
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	自動車に内蔵されている廃油、廃液の完全抜き後の処理業者〔クリーンセンター〕渡しで有料処理、処理料金は廃油、廃液とも 34 円/Kg	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	廃タイヤ等はセメント原料工場の燃料熱源となっている。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	自動車リサイクル法に準じたりサイクル業ということで、H16.12.01 立上げ操業開始後4年間見学者ラッシュとなり対応説明に追われた。H16年 819人、17年 811人、18年 202人、19年 190人 4年間合計 2,022人となった。その内訳は行政、大学、地方自治体、一般産業、報道関係の順となった。	

### 5.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	処理台数	非公開	非公開	台/年
	在庫台数	非公開	非公開	台/年
受入可能量	処理台数	-	非公開	台/年
	在庫台数	-	非公開	台/年
販売実績量の推移	フロン処理手数料	非公開	非公開	千円/年
	エアバッグ処理手数料	非公開	非公開	〃
	資源素材販売収入	非公開	非公開	〃
	中古部品販売〔国・輸〕	非公開	非公開	〃
	1. ガソリン、廃油、冷却液抜き 2. フロン、エアバッグの適正処理 3. 有用中古部品抜き(含むエンジン) 4. 車両ガラプレス屑は電炉向け			
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	非公開			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	非公開			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	非公開			
その他実績	非公開			

## 11.5 日本オートリサイクル株式会社

### 11.5.1 事業者情報

名 称	日本オートリサイクル株式会社			
本社住所	〒931-8405	富山県富山市松浦町7番30		
資本金、出資金	30,000 千円			
従業員数	47 人			
設立年月日	昭和60年2月19日			
URL	<a href="http://www.nar-toyama.co.jp/">http://www.nar-toyama.co.jp/</a>			
事業概要	自動車の解体処理、鉄屑加工処理、アルミニウム溶解、新車・中古車の販売、国内中古部品・輸出部品販売、産業廃棄物の収集運搬・中間処理、損害保険代理業、前各号に付随する一切の業務			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名			
	担当者名			
	連絡先	電話番号		
		FAX		
Eメールアドレス		—		

11.5.2 実績情報


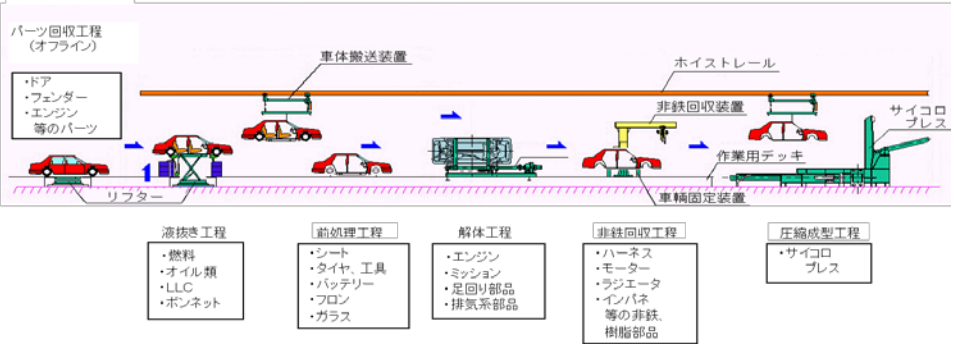
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	使用済自動車	14,600	14,700	台
受入可能量	使用済自動車	-	36,000	台
販売実績量の推移	使用済自動車	14,600	14,700	台
主な調達先	カーディーラー、モータース			
主な供給先	JFE 条鋼			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	重機の入替 7 台			

## 22.3 西日本オートリサイクル株式会社

### 22.3.1 事業者情報

名 称	西日本オートリサイクル株式会社			
本社住所	〒808-0021	北九州市若松区響町1丁目62番		
資本金、出資金	100,000 千円			
従業員数	45 人			
設立年月日	平成 11 年 1 月			
URL	<a href="http://www.warc.co.jp">http://www.warc.co.jp</a>			
事業概要	<p>■使用済み自動車のリサイクル業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入れた使用済み自動車から、使える部品を外し、中古自動車部品(リユース部品)として販売。</li> <li>・部品を外し終わった使用済み自動車を解体しながら、非金属、鉄、非鉄金属、その他樹脂等に分別回収を行い、素材としてリサイクル業者へ販売。</li> </ul>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	業務部		
	担当者名	塚本 雅之		
	連絡先	電話番号	093-752-5090	
		FAX	093-771-4733	
Eメールアドレス		mtsukamoto@warc.co.jp		

22.3.2 技術情報

キーワード	自動車リサイクル		
技術名称	自動車解体技術		
技術の分類	破碎・選別		
目的・用途	自動車をシュレッダー処理することなく、サイコロ状にしたプレスをそのまま鉄の原料として使用されている。		
特長	自動車鋼板をスクラップ原料の殆どは、電気炉メーカーで使用されていますが、当社では、高級鋼板である自動車鋼板を製造している高炉メーカーで使用されている。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図	<p>図1 解体工程</p> 		
廃棄物の種類	廃自動車	受入条件、形状	
供給資源・製品	・自動車リユース部品	形状	
	・自動車プレス	形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	ASR(シュレッダーダスト)を発生させない方法(全部再資源化業者)



	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	1台当たりの処理・再生に伴うCO <sub>2</sub> 排出量は約420kgですが、リサイクルにより約1000kgのCO <sub>2</sub> 排出が抑制できます。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・年間見学者受入数 : 約10,000人 ・2005年 愛知万博 愛・地球賞 (世界環境技術100選) 受賞

### 22.3.3 実績情報


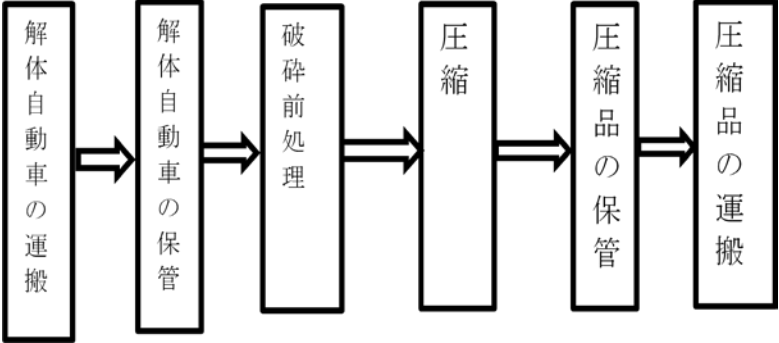
	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	使用済み自動車	非公開	非公開	台
受入可能量	使用済み自動車	-	非公開	台
販売実績量の推移	・自動車プレス(鉄スクラップ)	非公開	非公開	t
	・ワイヤーハーネス(銅線)	非公開	非公開	t
	・スクラップエンジン(アルミ+鉄)	非公開	非公開	t
	・自動車中古部品	非公開	非公開	M¥
主な調達先	・自動車ディーラー、損保会社、地元整備工場等			
主な供給先	・自動車プレス(鉄スクラップ) ・新日鐵住金株式会社(八幡製鐵所) ・自動車中古部品(リユース部品)・ ・整備工場			
設備投資の実績(過去5年間)	・工場建屋の一部拡張 ・リフター			
海外展開の実績(過去5年間)	・自動車の中古部品をアジア地区を中心に輸出中。(売上3~4億円/年)			
補助金等支援策の活用実績(過去5年間)	北九州市低炭素社会「見える化」推進事業補助金で、工場の照明及びエントランス外灯を省エネ照明、LED証明へ交換			

## 22.22 北九州 ELV 協同組合

### 22.22.1 事業者情報

名 称	北九州 ELV 協同組合			
本社住所	〒808-0021	北九州市若松区響町 1 丁目 62 番地 25		
資本金、出資金	1,100 千円			
従業員数	7 人(組合員数)			
設立年月日	平成 17 年			
URL	http://			
事業概要	<p>・廃自動車を購入し解体して中古パーツやエンジン等を外し 共同処理場に設置したプレス機で車輻本体部分を サイコロ型にプレスして鉄工会社等に販売する。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	北九州 ELV 協同組合事務局		
	担当者名	舌間 宗俊		
	連絡先	電話番号	093-752-1185	
		FAX	093-752-1186	
E メールアドレス		kitaelv@crest.ocn.ne.jp		

22.22.2 技術情報

キーワード	廃プラスチック、金属くず、ガラスくず		
技術名称	廃自動車解体		
技術の分類	その他(中古部品の再利用)		
目的・用途	中古部品の再利用による資源の確保		
特長	自動車リサイクル法の適用事業所		
設備、製品等の写真、イメージ	<p>部品を取り除いた後の胴ガラを当プレス機でサイコロ型に圧縮する(製品)</p> 		
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状
	産廃	金属くず	受入条件、形状
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状

供給資源・製品	廃自動車		形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	枯渇性資源の節減による環境影響の抑制とCO2排出量の削減	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	購入価格低廉価	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間 100 人程度</li> <li>・産業廃棄物処理業優良業者(北九州市)</li> </ul>	

### 22.22.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃自動車	23,400	19,000	台
受入可能量	廃自動車	-	32,000	台
	ガラスくず	21,247	17,274	t
主な調達先	北部九州、山口のディーラー及び自動車整備工場			
主な供給先	九州メタル、九州製鋼			